

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前年の9月は残暑が厳しかったため、秋物が売れ始めるのが遅れたが、今年は店舗改装中で営業していない区画があるにもかかわらず秋物が良く売れ、前年を上回る売上となった。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・今月実施した改装効果により、来客数が前年を大きく上回った。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新規の取引店の増加や、前年と比較して気温がかなり下がってきていることで、暖かい食品などが売れ、値上げによる寄与もあって、前年比で販売量、売上とも増加した。販促費が増加した分、手放しでは喜べないが、9月に入って良い状況である。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・オリンピック終了後の売上の落込みを心配していたが、来客数も多く決算セールも重なって、前年より売上等の数字が良かった。
		乗用車販売店（統括）	来客数の動き	・宣伝費用を上げなくても新規来客数が多い。単価もむしろ上がってきた。
		その他小売（営業担当）	販売量の動き	・海外旅行から国内旅行に移行していることにより、観光客が増加し、売上も増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の動き・様子からすると、景気そのものは良くはないと思う。売上は前年を若干上回る、101～102%で推移している。
テーマパーク（財務担当）	来客数の動き	・夏休みが明け、繁忙期は終了したが、売上等はほぼ前年並みで推移している。イベントはあまり実施していないが、会員対象のキャンペーン等が好評を得ている。		
変わらない		一般小売店〔印章〕（営業担当）	販売量の動き	・9月は中間決算で仕事の発注がある月だが、いつもより大手は動きがあるようで、株式の登記関連の注文が多かった。ただし、中小企業の動きは少ない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ここ数か月の販売状況は、悪いながら平行線といったところである。物販の個々のテナントを見ると、以前から良かったところは好調を維持し、悪いところは少し上向いてきたかなと思えるところが散見される。しかし、飲食については、全体的に前年同月を下回るなど、低調である。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・気温が高めに推移したこともあり、アパレル関係の売上が厳しい。他方、前年好調に推移したパラソルなどの夏物処分の売上も厳しい。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・今月に入っても気温がかなり高く、今まで夏に買った洋服をそのまま着用しているために、衣料品関係はかなり厳しい状況が続いている。しかし服飾雑貨関係、特に靴、ブーツの売上が例年どおり好調で、洋服はそのままでも足元やアクセサリーで秋を楽しんでいる客が多いようである。また、食品関係では、物産展の人气が根強く、毎回大好評である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ半年間、ずっと販売点数は前年比103%くらいであり、値上げがあったことにより、売上は前年比106～107%で推移している。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・商品が夏から秋冬へ入れ替わる時期を迎え、価格や規格の変更が増えているので、物価が上がってきているのを痛感している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数で見ると前年比で大幅に下落しており、タスポ効果が薄れてきているものと判断している。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・気温が下がり、秋物の動きが出てきている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・一般の来客数は前年と比べてもそれほど変わらないが、過去に来店したことのある客の来店数が極端に減少している。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・市場全体としては、あまり芳しくないと認識している。ただ新商品投入があったこともあり、決算月の特別な商談条件による客の反応は、決して悪くない。		

	乗用車販売店 (サービス担当)	販売量の動き	・9月決算月にも関わらず、新車の販売台数が、前年比86%と低迷している。事業計画比では67%となっている。
	その他専門店 [カメラ](店長)	単価の動き	・来客数は下げ止まってきたが、客単価が低下している。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・材料費は全般的に上がっているが、来客数は安定しており、特に問題があるといった状態ではない。
	都市型ホテル (従業員)	販売量の動き	・9月は閑散、繁忙期の間期で、流動的な月であるが、宿泊は前月より好調の兆しがあるものの、レストラン、宴会部門は前年割れと厳しかった。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年9月は売上が落ち込む時期であるが、今年は前年比でも売上が減少している。厳しい状態は、相変わらず変わっていない。
	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・世間での経済動向に関するマイナス情報の多さにしては、客が買い控える傾向は思ったほど見られない。
	競艇場(職員)	販売量の動き	・来客数は横ばいで推移している。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・単品での買物が多く、追加でメニューを買う客が非常に少なくなっている。単価と販売量の落ち込みが目に見えて激しい。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・来客数が極端に少なくなるとともに、客単価が低下した。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・客の来店頻度が少し減っている。また消費者は、政治不信や食への安全不信を抱えて良い話は全くなく、不安をかきたてるような話ばかりで、財布のひももなかなか緩まない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・9月早々から景気が重苦しくなったような気がする。北京オリンピック後の不況は念頭にあったが、ニューヨークからの激震は想定外で、せっかく商品が大きく動きかけたのに、また元に戻ってしまった。来街者の生活防衛意識は強まっており、なかなか購買に動いてくれない。
	商店街(代表者)	単価の動き	・ますますデフレ傾向が強く、客のより良い物をより安くよりタイムリーに買おうとする傾向が、ありありと見てとれる。
	一般小売店[酒場](経営者)	お客様の様子	・今月は市長、市議選挙があり、人の動きは活発な様子だったが、飲食店は客足が伸び悩んだ。また天候が涼しくなり、飲料水関係の動きが悪くなった。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・割引特別招待会であっても、まとめ買いはほとんどなく、1点買いが大半であった。本当に必要な物しか買わない状況が続いている。また気温が急に下がったことにより、月末には羽織ものが動くようになったが、ブラウスなど1枚でも羽織としても使えるツーウェイタイプが主流であった。
	百貨店(販売促進担当)	来客数の動き	・ここ数か月、来客数が2けた以上のマイナスとなっている。特に、週末は大きなマイナスとなっている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・前年、残暑で売上が大幅にマイナスだったブーツが前年比120%伸び、婦人靴も前年を超えたが、ヤング系の婦人衣料品は相変わらず浮上せず、店全体売上は前年比95%となった。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・担当顧客の法人が1軒倒産し、まだ景気は低迷していることを実感している。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・1人当たりの買上点数も減っているが、1品当たりの単価もかなり低下している。
	スーパー(財務担当)	来客数の動き	・既存店の客単価は下がっていないが、来客数が前年比で0.9%くらい減っており、売上も0.4%くらい前年を下回っている。
	スーパー(経営企画)	販売量の動き	・9月21日現在の既存店の販売量が前年比95.6%となった。前年に比べ気温が低下したこともあるが、落ち込みが大きい。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・タスポ効果でたばこの売上はアップしているが、たばこ以外の単価の高い商品が売れず、また本当に必要な商品しか購入していないので、全体的な売上は減少している。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・前年比が良いのはたばこだけである。それに伴うプラスアルファが、タスポ導入時はあったが、最近、客も必要な物以外は買わない。全体的な値上げの影響もあるが、販売数・来客数共に減少の傾向である。

衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・平日の来客数が極端に減少している。また、近隣市に大型ショッピングセンターがリニューアルオープンしたので、そちらに客が流れている。	
家電量販店(店 長)	来客数の動き	・イベントをしても、来客数の減少が目立っている。以前は遠方からでもイベントを楽しみに来店する客があったが、ガソリンの値上げや生活防衛のためか、最近では近郊の客が多く、それも徒歩か自転車での来店である。	
乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・9月度の販売量は前年比85%と大変厳しい状況となっている。4～9月で見ても前年割れとなっている。	
自動車備品販売 店(経営者)	来客数の動き	・来客数の前年比を見てもここ数か月前年を下回っている。特に今月は、今年度に入り一番悪い数字になっている。ガソリン価格も低下傾向にあるとはいえ、一服した程度であり、特に土日の来客数が低下している。	
その他飲食[ハ ンバー] (経営者)	来客数の動き	・客単価の落ち込みは解消してきたが、来客数は伸びておらず、状況は芳しくない。	
都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・前年の予約数と比較して、少ない。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・例年9月の連休では、ファミリー客や団体で満室になるところが、今年は予約が少なく、空室が出てしまった。不景気なことと、いろいろな物の値上げが旅行意欲を減少させている。	
タクシー運転手	販売量の動き	・売上は今年一番悪い状態が続いている。年金や介護保険などの不安もあり、客の会話は暗いものばかりである。我々の切羽詰った問題は、今タクシーの運転手がどんどん辞めだしていることである。	
通信会社(総務 担当)	お客様の様子	・ランニングコストを気にする人が増え、関心があっても成約に至らないか、成約しても低料金メニューに流れる傾向がある。	
テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・夏休みは遠方から家族連れが来ていたが、それが終わったとたんに来客数、客単価共に減少した。	
ゴルフ場(営業 担当)	競争相手の様子	・団体や個人にかかわらず、予約時に値段交渉をする人が増えてきた。何か言えば、それなりの料金を出す施設が増えてきたのだと思う。	
設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・所得が伸びないか減少する傾向を受け、生活費以外の出費を抑えている。そのため消費に慎重な姿勢が定着している。	
設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・原油高、金融不安、増税など何ら好材料がないなか、年末に向けての資金繰りがつかない話ばかりが聞こえてくる。	
設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・景気の見通しが良くない状況で、住まいにまで費用が回せない雰囲気がある。	
設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・景気の後退、建築物価の高騰、銀行の貸し渋りといったことが要因となり、顧客の建設意欲をそいでいる。	
住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注件数、受注金額共に減少しており、すべてについて動きが悪くなってきている。	
住宅販売会社 (経理担当)	来客数の動き	・大手のマンション販売会社等が民事再生法の適用を申請し事実上の倒産をしており、売主への信頼不安など消費者の住宅を購入する意欲が低下している。建材の高騰も影響している。	
悪く なっている	商店街(代表 者)	来客数の動き	・デパートが閉店中であることに伴う来客数減とこの暑さで、秋物が動いていない。
	商店街(代表 者)	それ以外	・商店街では、廃業する店舗が出てくるとともに、店舗を閉鎖したいがやめられないといった声が沢山聞こえ始めてきた。
	一般小売店[紙 類](経営者)	販売量の動き	・原油等の値上がりで商品の値上げが続き、販売量が落ちている。
	一般小売店(経 営者)	単価の動き	・購買単価が前年に比べて、非常に低下している。
	一般小売店(営 業)	販売量の動き	・相変わらずの物価上昇に加え、ガソリンも思っているほど下がり、消費マインドを冷え込ませている。料飲店の販売量は業態に関係なく、先月に引き続き低迷しており、体力勝負となっている。

	スーパー（店長）	お客様の様子	・このところの物価上昇の影響もあって、価格を気にする客が非常に増えている。ポイント倍増などの割引セールの際にだけ、客が集中する傾向が以前にも増して強くなっている。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・ガソリンの値上げがきっかけで落ちた来客数が戻らない。食品も相変わらず値上げラッシュで、週に3～4回の来店頻度が2～3回に落ちたまま回復する様子もない。
	スーパー（経理担当）	来客数の動き	・地元企業の倒産なども相次いで、非常に悪化している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・今月の来客数の動きは、前年比100%で前年並みである。3か月前と比べると7～8ポイントのマイナスで、工事関連の客の動きも悪くなっているようで、状況としては良くない。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・物価の上昇につぎる。特に食品がひどく、スーパーなどの小売店舗にも活気がない。
	衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月はまだ前半は暑くて来客数自体が少なく、秋物もまだ動かない。特にメンズの来客が少なく、案内を出した顧客くらいしか反応はない。また前年の9月はボトムが好調だったが、今年はボトムの落ちが激しい。
	家電量販店（店長）	競争相手の様子	・当社の売上は何とか前年をキープしているが、同業他社は前年を割っている。景気としては後退傾向にあると思われる。
	家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・曜日の配列が前年より不利であることを考慮しても、売上等の状況は良くない。
	住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・とにかく低価格という客が増えている。家具は長持ちするかどうかも重要なポイントであるにもかかわらず、とにかく低価格な安物を探している客が多い。それだけ厳しい状況だと感じる。
	その他専門店【時計】（経営者）	来客数の動き	・高額商品に対して購買マインドが低下しており、それだけ消費者がより価格に敏感になっている。併せて経営している土産物店は、前年比100%を確保できた。
	その他専門店【布地】（経営者）	来客数の動き	・客に電話して来店を促すが、金回りが悪いいためか、良い返事が聞かれない。
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・仕入価格の高騰によるメニュー価格の値上げが響いてか、来客数の減少に歯止めが掛からない。常連客の来店頻度も確実に減っている。
	スナック（経営者）	競争相手の様子	・ここ2か月くらいで同業他社が何軒もやめていった。料理屋や割烹でも、家族連れの客がないなどと苦しい様子で、閉店が続いている。
	観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・9月はすべての部門で前年を大きく割り込んでいる。8月が良かっただけに、その反動かもしれないが、いずれにせよ、旅行、外食に対する意欲は減少してきている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・特に今月は、夜の仕事の客の運行回数が減少している。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・同業者の集まりで話をしても、今月は今までのなかでも一番悪いという話が多い。同業者ばかりでなく、他業種の人のお話を聞いても、景気が悪いという話ばかりである。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の会社が倒産し、また、新しい仕事が入ってこないなどの話をたびたび耳にする。
企業動向関連	良く なっている	-	-
	やや良 くなっている	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き ・自社製品の売上について、東南アジアを中心とした海外向けの売上が伸びており、また国内に関しても、少しずつ回復の兆しが見え始めている。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き ・相変わらず原燃料価格の高騰を商品へ価格転嫁できない。また為替変動等の影響も大きい。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・受注量は変わらず、販売価格への転嫁も順調である。
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・造船向けは好調を持続している。自動車関連などで減産計画が打ち出されているものの、受注状況に変化はなく、現時点ではフル操業が続いている。	

	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は大型部品については多い反面、小型部品については、やや陰りが見られる。しかし全般的には受注量は高水準を保っており、仕事量は確保された状態が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの受注量が、先月と変わらない。かなり高いレベルで推移している。
	輸送業（運送担当）	取引先の様子	・相変わらずの原油価格高騰により、運送業者の発送量が横ばいの状態が続いている。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、契約件数の減少が続いている。
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・物価の高騰がここ数か月続いている。原材料も高くなってきて、当社も値段を上げていかななくてはならず、取引先との交渉でも、若干問題が出てきている。
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・生産量が今一步の水準で、原材料価格の高騰が続く、収益面も厳しい。
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連及びエレクトロニクス関連の受注が大きく減ってきている。自動車販売の不振と、電気関連製品の在庫調整が懸念される。
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・携帯関連で既存のユーザーの買換えが一巡し、販売台数が伸び悩み、受注に陰りが出ている。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量・受注価格共に横ばいの状況であるが、原材料価格の高止まりや労務費・諸経費の負担増など、採算的には厳しい状況が続いている。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・材料の値上げや中国における人件費アップにより、製造原価が大幅に上昇しており、多少は販売価格を上げてはいるが収支の悪化は免れない。さらに品質に対する消費者のクレームがより詳細になり、かつ増加している。このため求められる品質向上が製造工数増加につながり、それも収益ダウンの一因となっている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・底を這うような状態で悪いまま変わらない状態が続いていたが、3か月前と比べてさらに少し悪くなった。
	輸送業（統括）	取引先の様子	・長年取引をしていた顧客がコストの安い業者が変わっており、他業者が提案した業務料金まで値下げしなければ、仕事を確保できない状態にある。
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・法人向け通信サービスの引合いはそこそこ出ているものの、受注状況は相変わらず低迷している。F T T Hを中心としたブロードバンドサービス全体の伸びもやや停滞ぎみで、顧客の様子見傾向が続いている。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・大手の土木業者が、低額受注が続き経費が払えず、資金繰りが回らなかったために倒産した。金融負債以外にも、細かい業者にまで含めれば1億近い負債があるということで、この地域では大きな倒産となった。
金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・主要取引先では、景気低迷から北米向けの輸出減少が顕著となり、これまで堅調だったアジア・欧州向け輸出も頭打ちとなり、全体として受注は依然高水準ではあるが、伸び悩み傾向である。	
会計事務所（職員）	取引先の様子	・材料の値上がりによる価格改定やモデルチェンジをにらんだメーカーの在庫調整により、思うように商品が入荷せず、売上高が前年より低下したところがある。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・今月と3か月前を比較すると、沖合底引き網・大中型巻き網船・イカ釣り船が減少したため、水揚数量で885tの減少、水揚金額も1億2,250万円の大減となった。
	通信業（部門長）	それ以外	・米大手証券会社の倒産が日本経済に与えるマイナスイメージは計り知れない。石油価格高騰のあおりを受け、全ての商品が値上がりした。一般消費者は、最低必要な日用品においても財布のひもが固くなっている。取引先においては、製造業は、製品価格への上乗せ、飲食においては、値上げもしくは、分量の減量で対処し、経費の節減を図っている。
雇用関連	良くなっている	-	-

やや良くなっている	-	-	-
変わらない	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・来期の新卒採用計画の予算取りに、時間がかかる企業が多く見られる。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・不景気感が強いなか、新たな金融不安で景気への不安感が強まっている。周辺企業は、当面は静かに推移を見守るしかない、雇用についても全体的に消極姿勢である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・団塊世代の退職の補充について、一般の正社員求人が伸び悩んでいる反面、先行して開始されたこともあってか、新規学卒求人が伸びている。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・求人数が引き続き低調に推移し、前年の80%程度となっている。特に今まで好調であった金融や製造業からの求人依頼が減少し、他の産業を見渡しても求人数が伸びている業種が見当たらない。
	求人情報誌製作会社（支店長）	求人数の動き	・企業の2010年卒採用予定数が、前年対比で減少傾向である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・採用数を極力抑えるようにしている企業が、あちこちで見受けられる。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・事業内容等の見直しを実施する事業所数及び解雇者数が前年を上回る傾向が続いている。製造業では生産量は確保し、または増加している企業があるものの、原材料の高騰や原油高などから利益が上がらない、価格転嫁できないといった状況を聞いている。
	職業安定所（雇用開発担当）	周辺企業の様子	・事業所を訪問した際、「派遣労働者の受け入れを中止した。」「残業規制等を実施している、もしくはこれから検討する。」という声が多かった。
	民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・地場上場会社の民事再生に続き、今月上場メーカーの主要工場閉鎖のプレス発表もあり、雇用に関しても明るい材料がない。
	民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・地場大手企業から数名の募集があったがすぐ取り消しになった。その理由は同業者が事業を縮小したために、縮小した企業の従業員を引き取ることである。
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、製造業のなかでも特に電気機械器具製造業からの求人が前年比で3割以上減少したことが目立った。今後の受注の見通しも厳しく、確保済みの仕事量に対する人員も過剰感がある企業が多い。また、卸売・小売業も求人が2割以上減少しており、仕入れ価格や原材料価格の上昇が経営を圧迫する状態が続いている。